

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB

2025年12月15日 第1168例会 VOL.28 No.18 TOTAL1068

2025-2026年度

R I 会長 フランチェスコ・アレツォ 氏

R I 会長メッセージ 「よいことのために手を取りあおう」

第2640地区ガバナー 北野 治義

ガバナー基本方針 「透明性のある地区事業をめざす」

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことのために
手を取りあおう

【例会日】 毎週 月曜日 12:30~13:30

【例会場】 和歌山市湊通丁北 2-1-2 アバローム紀の国

【事務局】 和歌山市本町 2-1 フォルテワジマ 2F (〒640-8033)

TEL 073-435-3470 / FAX 073-435-3472

E-mail : wa-az-rc@naxnet.or.jp

https://wa-azalea-rc.org/

2025-26年度 和歌山アゼリアRCのテーマ

会長 宮井 靖輝 / 幹事 松平 真次

『多くの人に手を伸ばしてつなぎにしよう』

----- 本日の例会 12月15日(月) -----

第1168回例会

☆クラブフォーラム：I.M.実行委員会

「インターシティミーティング開催に向けて」

----- 次回の例会 12月22日(月) -----

第1169回例会 (夜間)

☆年末クリスマス家族例会

場所 アバローム

時間 18:30~20:30



--- 前回の例会記録 12月8日(月) -----

第1167回例会

- ロータリーソング それでこそロータリー
- ゲスト紹介 米山奨学生 薛 安達さん
- ビジター紹介 和歌山RC 幹事 垣本 英作 様
米山カウンセラー 河村 秀樹 様
- 例会見学 河端司法書士事務所 河端亨典様
オフィスカンパニユラ 黒野忠則様
和歌山県隊友会 会長 木下晴夫様
- 出席報告 会員数 28名 (内出席免除0名)
本日の出席 12月8日 18名 64.29%
メーキャップ 0名

◆ 会長挨拶 宮井 靖輝 会長



皆さまこんにちは。

和歌山 RC 幹事 垣本 英作様、
米山カウンセラー 河村 秀樹様
そして、米山記念奨学生の
薛 安達 (せつ あだち) 様、本日
お越しいたごきありがとうございます

います。薛さん、後ほど卓話よろしくお願ひします。
また、河端 亨典様、木下 晴夫様、黒野 忠則様、例会
見学によろそお越しくございました。今日は当クラブ
を知っていただき、楽しんでもらえたら幸いです。
先週、和歌山城ホールで日本赤十字社の県大会が高円
宮妃久子さまのご臨席の下、10年ぶりに開催され、
出席してきました。皆さんの中で出席された方もいら
っしゃるかと思ひます。式典では、功労者の個人の方
や団体への表彰があり、頭が下がる思ひでした。また
久子さまの言葉の中に「赤十字の精神が多くの人々に
共有され、赤十字運動に参加する人々の輪がさらに広
がっていくことを切に願う」とありました。我々ロー
タリークラブにも言えることで「会員増強」という言
葉が使われてますが、要は輪を広げていくことなんだ
ろうかと、当年度のテーマにした「多くの人に手を伸
ばしてつなぎにしよう」という事なんだろうかと自身で
勝手に理解した次第です。

今日は例会後に「ひとり親家庭への食料支援」事業と
して、和歌山すみれホームに行ってきますので、次回
報告させていただきます。では皆さんよろしくお願ひ
します。

四つのテスト (言行はこれに照らしてから)

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなのためになるかどうか



◆ 幹事報告 松平 真次 幹事



ガバナー月信12月号を回覧します。12月1日の例会見学にお越し頂いた、(株)スタジオパートスリーの中道幸代様からお礼のお手紙が届きましたので併せて回覧いたします。

◆ オープン例会 ゲスト紹介

河端司法書士事務所 川端 亨典 様 (中村会員後任)

オフィスカンパニユラ 代表 黒野 忠則 様

公益社団法人隊友会 会長 木下 晴夫 様

紹介者：田原サヨ子 会員



◆ 外部卓話

◎ 「日本への留学という旅が、私の人生にくれた宝物」
米山奨学生 薛 安達さん (世話クラブ：和歌山 RC)



みなさん、こんにちは。和歌山 RC の米山記念奨学生の薛安達 (せつ・あんだ) と申します。今日は、和歌山アゼリアロータリークラブで卓話の機会をいただき、とてもうれしく思っています。

今日お話しする内容は、私の研究についての簡単な紹介と、留学生として日本で過ごしている留學生活の体験談、そして私にとってとても忘れられない大阪万博での経験についてです。難しい専門的な話というよりは、できるだけ肩の力を抜いて、一人の留学生が日本でどんなふうに住んでいるのかという話を聞いていただけたらうれしいです。

まずは自己紹介からさせていただきます。

私の名前は薛 安達といます。この「安達 (あんだ)」は私のファーストネームなのですが、日本ではとてもよくある名字でもあります。そのせいで、日本で生活していると、名前を見た人から「安達さんとお呼びしたらいいですか？」とよく聞かれて、最初はどの返事をするかわからないのが困っていましたが、でも、だんだん説明するのをあきらめて、最近はそのまま「はい」と答えています (笑)。

私は 1997 年、北京の「櫻花東街」にある中日友好医院で生まれました。ここからも、日本との不思議なご縁を感じています。現在は大阪公立大学の現代システム科学研究科で人間科学専攻の修士 2 年生として学んでいて、研究分野はジェンダー研究です。今年の 4 月から米山奨学生としてお世話になっています。

次に、私の家族について少しお話しします。

私は 18 歳のときに家を出て、一人暮らしを始めました。2017 年、20 歳のときに今のパートナーと出会い、それから一緒に生活をしています。家族にはもう一つ大事なメンバーがいて、小さな猫が 2 匹います。名前は「小黑」と「小白」です。日本では私一人で暮らしていますが、中国に帰ると、パートナーと 2 匹の猫と一緒に生活しています。

次に、来日する前までの経緯についてお話しします。

私は北京聯合大学で英語を専攻していました。大学 1 年生のときからドイツ語も勉強し始めて、第二外国語

としてフランス語と日本語も選びました。もともとはドイツに留学するつもりでしたが、ちょうど卒業の時期にコロナ禍になってしまいました。私はオンライン授業だけの留学にはあまり魅力を感じていなかったのので、「ちゃんと現地で生活できる留学がしたい」と思い、まずは就職して、状況が落ち着くのを待つことにしました。

日本語は、もともと趣味として勉強していました。日本文学が好きで、あるとき音楽アプリで、日文専攻の中国人女子大学生が日本文学を朗読しているポッドキャストをたまたま見つけました。その朗読が本当に素敵で、「自分もこんなふうに日本語で作品を読み上げてみたい」と強く思い、日本語のクラスに通うことを決めました。

コロナがだんだん終わりに近づいてきた頃、私はもう一度留学について考え始めました。しかし、そのときに知ったのは、もしドイツで社会学を学びたい場合は、専攻を変えることができず、学部からやり直さなければならないということでした。私の年齢で、また学部から4年間やり直すのは負担が大きいと感じました。一方で、すでに日本語能力試験の資格を持っていて、日本語学校時代の友人の多くが日本にいるという人脈もありました。そうしたことから、私は日本に留学する道を選びました。

ここからは、私を知っていただくために、私の「二つの大きな趣味」から自分のことを紹介したいと思います。ひとつは語学、もうひとつは旅行です。

まず語学についてです。

私の母語は中国語ですが、そのほかにドイツ語、英語、日本語、スペイン語、フランス語を学んできました。今は韓国語も勉強していて、まだ基礎レベルですが、読むほうはだいぶ慣れてきました。

それ以外にも、会話はあまりできませんが、テキストを読んだり朗読したりできる言語があります。例えば、インドネシア語、マレー語、イタリア語、トルコ語、ルーマニア語などです。今日は、いくつかの言語を混ぜて朗読している動画も用意してきましたので、あとでよければ見ていただけたらうれしいです。

次は、もう一つの大きな趣味である「旅行」について

です。

私が小学生だった頃は、まだスマートフォンも SNS もなくて、本やテレビ、雑誌が「世界を知る窓」でした。中国の小学校では、学校を通して児童向けの雑誌を定期購読する仕組みがありました。私は毎月、その雑誌が届くのを一番楽しみにしていました。歴史や地理に関する雑誌をとっていて、それを読むたびに、「世界ってこんなに不思議で、多様で、おもしろいんだ」とワクワクして、「大きくなったら、絶対に自分の目で世界を見に行こう」と心の中で決めていました。それで、中学・高校に入ってから、一人で旅行をするようになりました。その頃から続けているのが、いわゆる「節約旅行（バックパッカー）」です。ここでの「節約」は、お金を節約するという意味であって、経験は節約しない、というスタイルです。

一度の旅行でできるだけ多くの場所を回るように計画して、在来線のようなローカル列車や長距離バスに乗って移動します。宿泊は、地元の人がやっている宿や、他の旅行者と交流できるゲストハウスを選びます。食事も観光客向けの高いレストランではなく、地元の人が日常的に通うようなお店で食べるようにしています。そうすることで、その土地の暮らしや空気を、より深く感じられると考えているからです。

高校生のときには、親に内緒で一人で青海からチベットまで自転車で旅をしたこともあります。無人地帯の可可西里を走り抜けて、毎日、高山病と戦いながら進んでいき、最後にはラサのポタラ宮にたどり着きました。この経験は私の人生にとって本当に大きな転機になりました。いろいろな苦しさや大変さを味わいましたが、そのぶん「強い意志があれば、乗り越えられない困難はない」という感覚が、自分の中でしっかりと根づいたと思います。

その後も、高校・大学を通してさまざまな英語コンテストに出場して、いただいた賞金や、普段から節約して貯めた生活費・お小遣いを旅費にあてていきました。そうして、大学を卒業する頃には、中国のすべての省、自治区、特別行政区をまわり終えることができました。

日本に留学してからは、ありがたいことに、さまざまな学術活動に参加することができました。

◆ 委員会報告

その中で特に大きかったのが二つあります。ひとつは去年の9月に、指導教員の先生と一緒に北海道の札幌で開かれた第48回日本性科学学会に参加したことです。そのときは主に発表を聞く側として参加しました。そして、本当に自分の「出番」が来たのは今年6月です。私の研究テーマが、オーストラリアで開催されたWAS（世界性科学協会）の学会に採択され、口頭発表の機会をいただきました。そこで私は指導教員と一緒にオーストラリアのブリスベンに向かい、研究者としてのデビューをしてきました。

発表のとき、自分の名前が国際学会の大きなスクリーンに表示されているのを見て、本当に胸がいっぱいになりました。私の研究発表は世界各地から来ていた研究者の方々にも評価していただき、とても励みになりました。

この経験は、間違いなく一生忘れられないものになったと思います。然后是



◎ 次年度幹事・SAA選任の件 小阪 知会長エレクト



和歌山アゼリアロータリークラブ細則第3条第2節に基づき、年次総会后一週間以内に次年度の幹事と、会場監督（SAA）を選任しなければならないと定められておりますので本日発表

させていただきます。

次年度幹事 藤田真佐子 会員

次年度S.A.A. 吉田起代子 会員

一年間皆様宜しく申し上げます。



◎ 出席・プログラム委員会

吉田起代子 委員長



22日の年末クリスマス家族例会のご返答がまだの方はお早めにお願ひします。

会費は15日の例会にて徴収させていただきますのでご準備の方よろしくお願ひ致します。

◎ 雑誌・広報・IT委員会

堀本喜久子 理事



まず縦組2ページからの、日本生まれ、世界育ちの母子手帳という記事です。

母子手帳は母である私にとって特別な思いのある物ですが、とはいえここにおられる皆さんが

持っている物です。

戦後まもない困難な時代に知恵を絞って生み出された貧しかったからこそ創意工夫された物だそうです。

戦後の乳児死亡率の減少を支えたのは、へき地、農村の保健師、助産師で、それらの努力により現在の

100%普及率へと繋がっていきます。

そして、この中村医師が 1994 年からインドネシアに始まり、ケニア、ベトナム、タイ、パレスチナなどへ広めていきます。

この機会にぜひご自分の母子手帳があれば読んでみてください。

そして次は 17 ページの卓話の泉、微生物の力という記事です。

この中身は最新の情報です。一度目を通してみてください。

次に横組の 3 ページ、会長メッセージ、健康と幸せのためにという記事の中、世界ではほぼ 7 人に 1 人が何らかの精神疾患を患っているということと、心の健康と幸福を支える強かなものは友情だとあります。実際会長には吃音があり人前で話すのが怖かったが、クラブの仲間達の支えと愛情で恐怖に立ち向かったとあります。先日の地区大会でもこの話はありました。

それから 6 ページからの談義です。

話し言葉ですし読みやすく内容も身近できっとみなさん頷けることが多いと思います。

◆ S.A.A. 報告 (3 つの箱)

◆ ニコニコ箱

和歌山 R C 幹事 垣本 英作 様

和歌山 R C 垣本です。

本日は、薛（せつ）さん、河村さんと一緒に参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

和歌山 R C 米山カウンセラー 河村 秀樹 様

本日は 薛 安達（せつ あだち）さんをお招きいただきまして本当にありがとうございます。よろしくお願いいたします。感謝

宮井 靖輝 会長

本日は 垣本様、河村様、薛 安達様、ようこそいらっしゃいました。河端様、木下様、黒野様、本日楽しんで下さい。

松平 真次 幹事

薛 安達様、本日の卓話よろしくお願いいたします。また、たくさんのゲストの方々にお越し頂いております。ありがとうございます。

阪口 昌子 S A A

皆様こんにちは。例会見学の皆様ようこそお越し下さいました。また、米山奨学生の薛 安達様、本日の卓話よろしくお願いいたします。和歌山 R C 垣本幹事様、米山カウンセラー河村様、本日はありがとうございます。

堀本喜久子 会員

米山奨学生の薛 安達様、本日の卓話を楽しみにしています。また、例会見学の皆様方、ようこそお越し下さいました。

松下 正和 会員

黒野様、木下様、河端様、ロータリー見学ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

中村 善夫 会員

今日も休んでごめんなさい。

西出 隆一 会員

米山奨学生の薛安達さん、今日の卓話よろしくお願いいたします。またご同行いただいている和歌山 R C 垣本幹事様、米山カウンセラー河村様、ようこそお越し下さいました。そして、例会見学の 3 名の皆様、どうぞゆっくりして行って下さい。

鮫島 義征 会員

本日もよろしくお願いいたします。

田原サヨ子 会員

木下さん、黒野さん、ようこそおいで下さいました。ぜひご入会いたします。どうぞよろしく。

吉田起代子 会員

年の瀬で忙しくなってきましたね。皆様、お越し下さりありがとうございます。

本日合計額 31,000 円 累計額 532,000 円

◆ ロータリー財団

宮井 靖輝会員 西出 隆一会員 田原サヨ子会員
吉田起代子会員

本日合計額 8,000 円 累計額 117,000 円

◆ 米山記念奨学会

松下 正和会員 西出 隆一会員

本日合計額 4,000 円 累計額 86,000 円

◆ ワンワン基金例会寄付



本日合計額 円 累計額 34,089 円

◆◆◆◆◆ 今後のプログラム予定 ◆◆◆◆◆

◎12月29日(月) 休会

◎1月5日(月) 休会

◎1月9日(金)(夜間)

新年度初例会・賀寿お祝い・お誕生祝い

新入会員歓迎会

18:30~20:30 於:アバローム こもれびの間

◎1月19日(月)

外部卓話:2640 地区職業奉仕委員長 田中 元章様

◎1月26日(月)

インターシティミーティング予行演習

今年度財務中間報告

◎2月2日(月) 夜間

移動例会&グルメ会 於:うたげ(山田さんのお店)

送迎あり

◎2月9日(月) 未定

◎2月16日(月)

第3回クラブ協議会「委員会中間活動報告」

◎2月23日(月・祝)



◆市内ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	12月15日(月)	クラブフォーラム「第2回IDMの発表」
和歌山	12月16日(火)	「新会員卓話」 前田安津久 会員 常川仁司 会員
和歌山東南	12月17日(水) 12:30~	会員卓話 手拝誓哉 会員
和歌山西	12月17日(水) 18:30~	年末親睦夜間例会 於: 鰻割烹「心艶」
和歌山東	12月18日(木)	卓話 和歌山県県土整備部空港活性化 担当参事 岡澤 利彦 さん
和歌山城南	12月18日(木) 18:00~20:30	クリスマス家族例会
和歌山南	12月21日(日) 18:00~	19日の例会を変更 クリスマス家族夜間例会
和歌山中	12月19日(金)	

◎サイン受付

和歌山西RC:12月17日(水) 12:00~12:30
サンプレストビル

和歌山南RC:12月19日(金) 12:00~12:30
ダイワロイネットホテル4F

和歌山北RC:12月22日(月) 12:00~12:30
ダイワロイネットホテル4F

和歌山RC:12月23日(火) 12:00~12:30
ダイワロイネットホテル4F

和歌山東南RC:12月24日(水) 12:00~12:30
ホテルアバローム紀の国

◎休会

和歌山東RC:12月25日(木)
1月1日(木)

和歌山城南RC:12月25日(木)
1月1日(木)

和歌山南RC:12月26日(金)
1月2日(金)

和歌山北RC:12月29日(月)
和歌山RC:12月30日(火)

1月6日(火)

和歌山西RC:12月31日(水)

和歌山東南RC:12月31日(水) 祝日週休会